

スペイン語版
ESPAÑOL

あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』



かくきょうか がくしゅうないようへん こくご
各教科の学習内容編 <国語>
じほんやくつき
《ローマ字と翻訳付》

“CUADERNO DE ESTUDIOS AYA & MUSASHI”

Sección de materias escolares: Lengua Japonesa

《Con japonés romanizado y su traducción》

埼玉県教育委員会



あや むさし がくしゅうちょう
『彩と武蔵の学習帳』

もくじ
目次

だい せつ かくきょうか がくしゅうないようへん
第3節 各教科の学習内容編

こくご
〈国語〉

1. 「は」「を」「へ」をつかってかこう…………… 1
2. しゅごとじゅつご（主語と述語）…………… 3
3. くわしくすることば…………… 4
4. まる・てん・かぎ…………… 5
5. ローマじ表…………… 6
6. ローマじのきまり…………… 7
7. ぶんとぶんのつながり…………… 8
8. はんたいのいみのことば…………… 9
9. かんじのなりたち…………… 10
10. かんじのかきじゅん…………… 11
11. やさしいかんじ…………… 12
12. おぼえておきたいことば…………… 16
13. 言語の単位…………… 19
14. 文の成分…………… 19
15. 単語のいろいろ…………… 19
16. 活用のない自立語…………… 20
17. 学習用語…………… 20

第3節 各教科の学習内容編

Capítulo 3 Contenido estudiado en cada materia

〈国語〉 Kokugo (Lengua Japonesa)

1 「は」「を」「へ」をつかってかこう (Escribamos usando “wa”, “wo” y “e”.)

(1) わたし は みる。

Watashi wa miru.

(Yo veo.)

テレビ を みる。

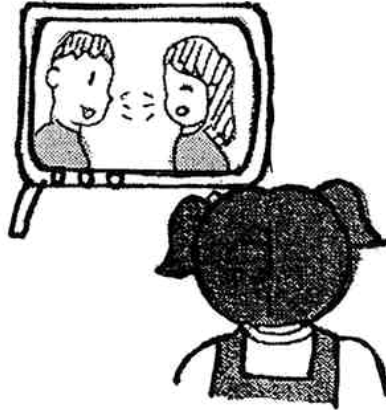
Terebi wo miru.

(Veo televisión.)

わたし は テレビ を みる。

Watashi wa terebi wo miru.

(Yo veo televisión.)



(2) ぼく は いく。

Boku wa iku.

(Yo voy.)

うみ へ いく。

Umi e iku.

(Voy al mar.)

ぼく は うみ へ いく。

Boku wa umi e iku.

(Yo voy al mar.)



「は」「を」「へ」をつかってぶんをつくりましょう。

(Vamos a usar “wa”, “wo” y “e” para formar oraciones.)

	は		を		。
	は		へ		。

(3) 「わ」と「は」

“Wa” to “wa”

(Las dos formas de “wa”: わ y は)

わに は かわ に います。

Wani wa kawa ni imasu.

(Hay un cocodrilo en el río.)

わたし は なわとび が すきです。

Watashi wa nawatobi ga suki desu,

(Me gusta saltar la sogá.)

(4) 「お」と「を」

“O” to “wo”

(Las dos formas de “o”: お y を)

かお を あらいます。

Kao wo araimasu.

(Me lavo la cara.)

おにごっこ を します。

Onigokko wo shimasu.

(Jugamos a la mancha.)

おむすび を たべます。

Omusubi wo tabemasu.

(Como una bola de arroz.)

(5) 「え」と「へ」

“E” to “e”

(Las dos formas de “e”: え y へ)

えき へ おとうさん を むかえ に いきます。

Eki e otôsan wo mukae ni ikimasu.

(Voy a buscar a mi padre a la estación.)

へや の なか へ はいろう。

Heya no naka e hairô.

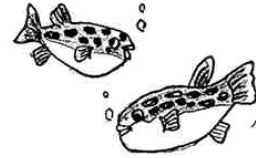
(Vamos a entrar a la habitación.)

2 しゅごとじゅつご (主語と述語) (Sujeto y Predicado)

しゅご shugo (sujeto)

じゅつご jutsugo (predicado)

(1) さかな が およぐ。
Sakana ga oyogu.
(El pez nada.)



(2) ボール は まるい。
Bôru wa marui.
(La pelota es redonda.)



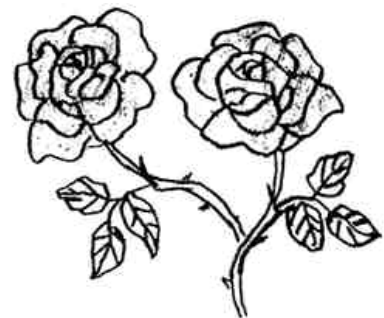
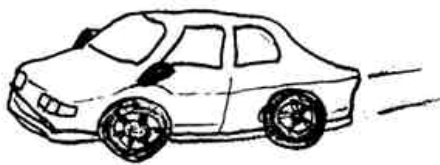
(3) あかちゃん が、なく。
Akachan ga, naku.
(El bebé llora.)



(4) ぼく は しょうがくせいだ。
Boku wa shôgakusei da.
(Yo soy alumno de la Escuela Primaria.)



え を み て ぶ ん を つ くり ま し ょ う。
(Hagamos oraciones mirando los dibujos.)



- ★・主語は<なにが、なには、だれが、だれは>にあたり、述語は<どうした、どうだ、どんなだ>にあたることばです。
- ・主語と述語がそろった文にすると、言いたいことがきちんと伝わります。
- ・絵を見て文を作ったり、主語カードと述語カードの合わせゲームをしたりすると、意欲的に取り組めるでしょう。

3 くわしくすることは (Palabras que dan detalles)

わたしは、たべました。
Watashi wa, tabemashita.
(Yo comí.)



わたしは、おべんとうを たべました。
Watashi wa, obentô wo tabemashita.
(Yo comí una vianda.)

わたしは、おかあさんが つくった おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta obentô wo tabemashita.
(Yo comí una vianda hecha por mi mamá.)

わたしは、おかあさんが つくった おいしい おべんとうを たべました。
Watashi wa, okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tabemashita.
(Yo comí una vianda deliciosa hecha por mi mamá.)

わたしは、えんそくで おかあさんが つくった おいしい おべんとうを ともだちと
いっしょに たべました。
Watashi wa, ensoku de okâsan ga tsukutta oishii obentô wo tomodachi to isshoni
tabemashita.
(Yo comí una vianda deliciosa preparada por mi mamá, junto a mis amigos durante la excursión.)

- ★・上の文では、みな同じ主語と述語が使われています。詳しくする言語をつけ足すことで、順によりわかりやすい文になります。「だれに」「なにを」「いつ」「どこで」「どんな」「どのように」にあたる文の意味を詳しくする言葉を修飾語といいます。
- ・主語、述語だけの文に、修飾語を足して、文をくわしくする練習をすると語彙が広がります。

4 まる・てん・かぎ (Punto final, comas, comillas)

(1) まる(。)は、ぶんの おわりを あらわす。
(El punto final japonés“。” indica el final de la oración.)

(2) てん(、)は、ぶんの いみの きれめを あらわす。
(La coma japonesa“、” indica una pausa dentro de la oración.)

(3) かぎ(「」)は、かいわを あらわす。
(Las comillas japonesas“「」” indican un diálogo.)

わたしは、しゅくだいを してから、ピアノの れんしゅうを しました。
Watashi wa, shukudai wo shite kara, piano no renshû wo shimashita.
(Después de hacer la tarea, he practicado piano.)

「がんばったね。とても じょうずに なったよ。」
“Ganbatta ne. Totemo jôzu ni natta yo.”
("¡Te has esforzado! Has mejorado mucho.")

と、おかあさんが いいました。
To, okâsan ga iimashita.
(Dice mi madre.)



★・「」は会話のほかに、書名、引用、心の中で思ったことなどを表す時にも使います。
・中点(・)は言葉をならべる時、ダッシュ(—)は説明を補う時や、文末を途中で止める時などに使います。

5 ^{ひょう}ローマじ表
(Tabla con alfabeto latino)

大文字	A	I	U	E	O			
	あ a	い i	う u	え e	お o			
K	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きよ kyo
S	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しよ syo [sho]
T	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちよ tyo [cho]
N	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	によ nyo
H	は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひよ hyo
M	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みよ myo
Y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
R	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りよ ryo
W	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) <wo>			
	ん n							
G	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎよ gyo
Z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じよ zyo [jo]
D	だ da	ぢ (zi) [di] [ji]	づ zu [du]	で de	ど do	ぢゃ zya [ja]	ぢゅ zyu [ju]	ぢよ zyo [jo]
B	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びよ byo
P	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴよ pyo

★ローマ字を知っていると、コンピュータやワードプロセッサを使う時、便利です。ただし、「ぢ」は「DI」、「づ」は「DU」、「を」は「WO」、「ん」は「NN」と打ちます。

6 ローマじのきまり (Reglas del alfabeto latino)

(1) 3もじで あらわす おん (Sonidos expresados por 3 letras)

<u>toshokan</u> <u>tosyokan</u>	としょかん	(biblioteca)
<u>otya</u> <u>ocha</u>	おちゃ	(té)

(2) のばす おん (Sonidos largos)

o <u>t</u> san	おとうさん	(papá)
o <u>n</u> isan	おにいさん	(hermano)

(3) つまる おん (Sonidos oclusivos)

sh <u>ipp</u> o <u>sipp</u> o	しっぽ	(cola)
ki <u>tt</u> e	きって	(sello/estampilla)

(4) はねる おん(ん)と つなぎの おんを きりはなす (Separar los sonidos unidos al sonido de "n")

ton' <u>y</u> a	とんや	(mayorista)
sen' <u>j</u> i	せんい	(fibra)

(5) おおもじ(A) こもじ(a) (Letra mayúscula (A) y letra minúscula (a))

<u>H</u> okkaidô	ほっかいどう	(Hokkaido)
<u>S</u> akai <u>Y</u> uri	さかいゆり	(Yuri Sakai)

(6) ふたつの かきかた (Las dos formas de escritura)

<u>miti</u> <u>michi</u>	みち	(camino)
--------------------------	----	----------

- ★ ・ローマ字は日本語の発音を表すために使われます。
- ・ローマ字で書かれたものを集めると、ローマ字に関心を持ちます。
- ・地名など、全部大文字で書くこともあります。TÔKYÔ
- ・名前などの言葉をつなぐ印として「—」を付けることもあります。Sakai—Yuri

7 ぶんとぶんのつながり (Uniones de dos oraciones)

せつぞくご (ぶんと ぶんを つなぐ)

(**Conjunciones**): Unir una oración con otra.)

ねつが だた。 **だから**、がっこうを やすんだ。

Netsu ga deta. **Dakara**, gakkô wo yasunda.

(Tuve fiebre. **Por eso**, falté a la escuela.)

いもうとが、かいだんから おちた。 **しかし**、けがは しなかった。

Imôto ga, kaidan kara ochita. **Shikashi**, kega wa shinakatta.

(Mi hermanita, se cayó por las escaleras, **pero** no se lastimó.)

うみに いきますか。 **それとも**、やまに いきますか。

Umi ni ikimasu ka. **Soretomo**, yama ni ikimasu ka.

(¿Vas al mar? **o** ¿vas a las montañas?)

しじご (まえに でてきた ことや ぶんを さす)

(**Pronombre demostrativo**): Hace referencia a algo citado anteriormente.)

うみで いしを ひろった。 **その** いしは、しろくて まるい。

Umi de ishi wo hirotta. **Sono** ishi wa, shirokute marui.

(Junté una piedra en el mar. **Esa** piedra es blanca y redonda.)

きのう、どうぶつえんに いった。 **これは**、そのときの しゃしんだ。

Kinô, doubutsuen ni itta. **Kore wa**, sono toki no shashin da.

(Ayer fuí al zoológico. **Esta** es una foto de ese día.)

★・順接、逆接の接続語以外にも、様々な接続語があるので、いっしょにみつけましょう。

(それから、それで、ところが、でも、など)

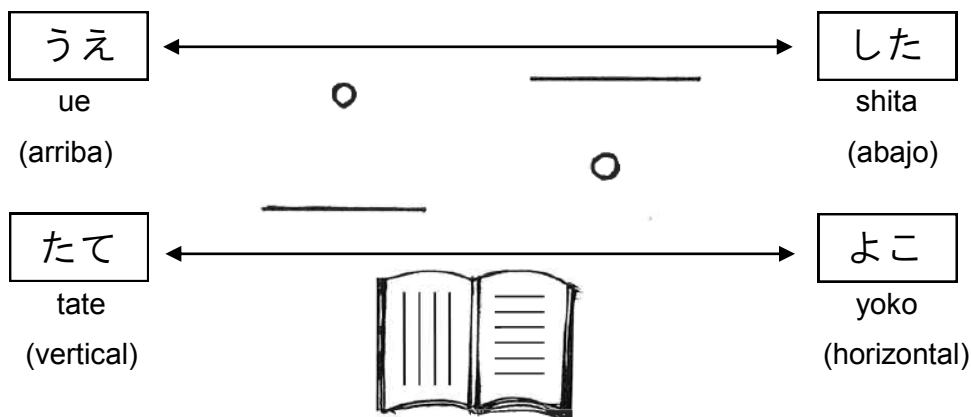
- ・「こそあど言葉」は指示語であり、それを使うことにより、同じ言葉の繰り返しを避けることができます。

8 はんたいのいみのことば
(Antónimos, palabras con significados opuestos)

(1) ほうこうやかんけい

Houkou ya kankei

(Direcciones y relaciones)



(2) ひとやものごとのうごき

Hito ya monogoto no ugoki

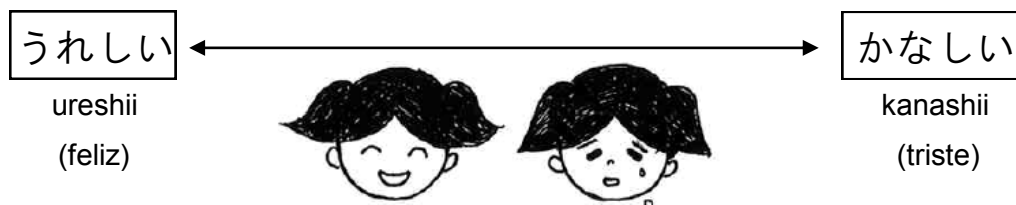
(Movimientos de personas y cosas)



(3) ようすやせいしつ

Yōsu ya seishitsu

(Apariencia y personalidad)



★・色々なことばの反対語を集めて、語彙を増やすとよいです。動作を取り入れると、効果的です。
・会話のページの様子を表す言葉も関連して指導できます。

9 かんじのなりたち (El origen del kanji)

かんじは いまから 3000ねん いじょうも まえに ちゅうごくで できました。
はじめは かんたんな えもじで あらわしていましたが だんだん へんかして いまの ような
かたちに なりました。

(Los caracteres “kanji” fueron creados en China, hace más de 3000 años. Al principio, se representaban a través de figuras simples, pero luego se fueron transformando hasta llegar a las formas que conocemos hoy.)

て あしを ひろげて、おおきい
Te ashi wo hirogete, ôkii
(Estirando los brazos y las piernas: grande)



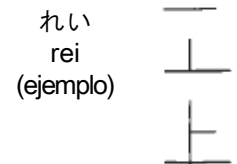
大_{おお} | · · よみがな yomigana
き | · · おくりがな okurigana

よみかた	
大	
(訓)	(音)
お	ダイ
お	イ
大男	大臣

(1) ものの かたちや ようすを えがいた えもじを かんたんに したものの。
(Kanjis que representan diseños de formas y el estado de las cosas.)



(2) えに しにくい ことを するしなどで あらわした もの。
(Kanjis de cosas difíciles de representar, que son expresadas por símbolos.)



(3) かんじの いみを くみあわせて できた もの。
(Kanjis formados por la unión de significados de otros kanjis.)

れい 休 (descansar)→人 (personas)+木 (árbol)
rei 人が木の下で休む (persona descansando debajo del árbol.)
(ejemplo) 鳴 (canto de animales)→口 (boca)+鳥 (pájaro)
鳥が鳴く様子 (apariciencia de un pájaro cantando)

(4) おんを あらわす ぶぶんと いみを あらわす ぶぶんを あわせて できたもの。
(Kanjis que se forma juntando la parte que representa el sonido y la parte que representa el significado.)

れい 清 (purificar)
rei 氵 (さんずい) は水の意味 (氵 significa agua.)
(ejemplo) 青はセイと読み、音を表す (青 Se lee “sei”, expresando la lectura del kanji.)

10 かんじのかきじゅん (Órden de escritura del Kanji)

かんじの かきじゅんには つぎの ような きまりが あります。

(Los kanjis tienen las siguientes reglas de orden de escritura:)

(1) うえから したへ

(De arriba hacia abajo)

さん
三 → 一 = 二 三

(2) ひだりから みぎへ

(De izquierda a derecha)

かわ
川 →) 川 川

(3) よこせんから たてせんへ

(Trazos horizontales primero y luego verticales)

とお
十 → 一 十

(4) まんなかから さゆう (左右) へ

(Del centro hacia los lados)

しょう
小 → 丿 小 小

(5) そとがわから うちがわへ

(De afuera hacia adentro)

どう
同 → 丨 冂 冂 同 同 同

(6) たてにつきぬけるせんは さいご

(El trazo vertical que corta, se escribe a lo último)

なか
中 → 丨 冂 口 中

★・漢字を書くときは、上のような原則があることを知らせ、書き順に気をつけながら書くように指導します。

・発展として、漢和辞典（漢字辞典）の使い方についても触れ、漢字辞典を使いながら漢字の組み立て【かんむり】【あし】【にょう】【たれ】【かまえ】についても指導できるとより理解が深まります。

11 やさしいかんじ
(Kanjis simples)

ひと hito persona

人 hito persona

男 otoko hombre

女 onna mujer

子 ko niño

父 chichi papá

母 haha mamá

兄 ani hermano

弟 otôto hermanito

姉 ane hermana

妹 imôto hermanita

自分 jibun si mismo

親 oya padres

友だち tomodachi amigo

外国人 gaikokujin extranjero

日本人 nihonjin japonés

しぜん shizen naturaleza

日 hi sol

月 tsuki luna

山 yama montaña

川 kawa río

空 sora cielo

雲 kumo nube

水	みず	mizu	água
海	うみ	umi	mar
天気	てんき	tenki	tiempo (clima)
雨	あめ	ame	lluvia
風	かぜ	kaze	viento
木	き	ki	árbol
林	はやし	hayashi	arboleda
森	もり	mori	bosque
草	くさ	kusa	pasto
花	はな	hana	flor
田	た	ta	arrozal
土	つち	tsuchi	tierra
火	ひ	hi	fuego
石	いし	ishi	piedra
星	ほし	hoshi	estrella

いち・ほうこう

ichi・hōkō

posición・dirección

上	うえ	ue	arriba
下	した	shita	abajo
中	なか	naka	adentro
外	そと	soto	afuera
右	みぎ	migi	derecha
左	ひだり	hidari	izquierda
前	まえ	mae	frente/delante
後ろ	うしろ	ushiro	atrás

東	ひがし	higashi	este
西	にし	nishi	oeste
南	みなみ	minami	sur
北	きた	kita	norte

うごき ugoki acciones

休む	やすむ	yasumu	descansar
見る	みる	miru	ver
出る	でる	deru	salir
入る	はいる	hairu	entrar
立つ	たつ	tatsu	pararse
引く	ひく	hiku	tirar
歌う	うたう	utau	cantar
帰る	かえる	kaeru	volver/regresar
言う	いう	iu	decir
考える	かんがえる	kangaeru	pensar
行く	いく	iku	ir
作る	つくる	tsukuru	armar
止まる	とまる	tomaru	parar/detener
思う	おもう	omou	pensar
書く	かく	kaku	escribir
食べる	たべる	taberu	comer
切る	きる	kiru	cortar
走る	はしる	hashiru	correr
歩く	あるく	aruku	caminar

来る	くる	kuru	venir
話す	はなす	hanasu	hablar
読む	よむ	yomu	leer
答える	こたえる	kotaeru	responder
買う	かう	kau	comprar
遊ぶ	あそぶ	asobu	jugar
起きる	おきる	okiru	levantarse

ようす yôsu apariencia

大きい	おおきい	ôkii	grande
小さい	ちいさい	chiisai	pequeño
早い	はやい	hayai	temprano
強い	つよい	tsuyoi	fuerte
新しい	あたらしい	atarashii	nuevo
明るい	あかるい	akarui	iluminado
多い	おおい	ôi	abundante
少ない	すくない	sukunai	poco/escaso
近い	ちかい	chikai	cerca
太い	ふとい	futoi	grueso
楽しい	たのしい	tanoshii	divertido
高い	たかい	takai	alto, caro
広い	ひろい	hiroi	extenso/ámplio
長い	ながい	nagai	largo
正しい	ただしい	tadashii	correcto

12 おぼえておきたいことば

(Palabras que debemos recordar)

あらすじ arasuji

ものがたりなどの だいたいの ないようのこと。

(Sinopsis: síntesis del contenido de una historia.)

おんどく (音読) ondoku

こえに だして よむこと。

(Lectura en voz alta.)

かいわ (会話) kaiwa

じんぶつが はなしたこと。 ※かくときは「 」をつける。

(Diálogo: conversación entre personas. *Los diálogos se escriben entre los siguientes símbolos 「 」.)

だんらく (段落) danraku

ぶんしょうの なかでの ないようの まとまり。

(Párrafo: conjunto de oraciones sobre un mismo tema.)

とうじょうじんぶつ (登場人物) tōjōjinbutsu

ものがたりに でてくる にんげんや どうぶつ。

(Personaje: personas y animales que aparecen en la historia.)

ぶん (文) bun

まとまった いみをもつ ひとまとまりの ことば。 ※おわりに (。)をつける。

(Oración: conjunto de palabras que forman una frase con sentido. *El final se indica con el símbolo (。).)

ぶんしょう (文章) bunshō

かきての かんがえで まとめられた いみをもつ ぶんの あつまり。

(Texto: conjunto de oraciones que representan el pensamiento del autor.)

ばめん (場面) bamen

ものがたりで あることが おこなわれている ひとまとまりの ぶぶん。

(Escena: Parte de la historia en la cual se desarrolla una acción).

ぎだい (議題) gidai

かいぎのばで とりあげて はなしあう ことがら わだい。

(Tema de reunión: tema o asunto sobre el cual se conversará en una reunión.)

きょうつうご (共通語) kyōtsūgo

ぜんこく どのちほうの ひとにも つうじることば。

(Lengua común: Lengua comprendida por las personas de cualquier región del país.)

こうせい（構成） kôsei

ぶんや だんらくが どういう かんけいで むすびつき ぶんしょう ぜんたいを つくって
いるかと いうこと。

(Estructura: cómo están unidas las oraciones y los párrafos para formar el texto general.)

しじご（指示語） shijigo

ものごとの ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす ことば。

(Pronombre demostrativo: palabras que indican el lugar, dirección, situación, etc.)

ぶんご（文語） bungo

かきことばの なかに のこっている ことば。

(Lenguaje escrito: palabras utilizadas de manera escrita.)

ほうげん（方言） hôgen

そのちほう どくとくの ことば。

(Dialecto: lengua característica de una región.)

ようし（要旨） yôshi

その ぶんしょうぜんたいで ひっしやが のべようと する おもな ないよう。

(Resumen: contenido principal que el autor quiere comunicar a través de sus textos.)

こそあどことば kosoado kotoba

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などのように はじめに「こ・そ・あ・ど」がついている
ことば。ものごとや ばしょ ほうこう ようすなどを さししめす。

(Palabras iniciadas por “ko”, “so”, “a” y “do”: indican cosas, lugares, direcciones o estados.)

こみだし（小見出し） komidashi

ひとつの ぶんしょうを いくつかに わけて それぞれに つける だい。

(Subtítulo: títulos colocados a cada uno de los textos divididos.)

さくいん（索引） sakuin

ほんの おわりにあり とりあげてある ことがらが どの ページに あるかを せいりしたもの。

(Índice de temas: Compilación de los temas tratados en el libro. Indica las páginas y se encuentra al final del libro.)

じゅくご（熟語） jukugo

ふたつじょうの かんじが くみあわさって できた ことば。

(Palabra compuesta: palabra formada por la unión de dos o más kanjis.)

もくじ（目次） mokuji

ほんの はじめにあり ないようの みだしが ページじゅんに ならべてあるもの。

(Índice: listado de subtítulos ordenados por páginas y se encuentra al comienzo del libro.)

ようす（様子） yôsu

じんぶつの したことや いったこと みなり かおつき まわりの できごとなど。

(Estado: cosas hechas o dichas por alguien, su apariencia, expresión, acontecimientos a su alrededor, etc.)

かんご（漢語） kango

かんじを 「おん」で よんだ ことば。（例 上下・・・ジョウゲ）

(Palabra de origen chino: Palabras formadas por kanjis con lectura “on” <lectura de origen chino>. Por ejemplo: 上下 jôge = arriba y abajo.)

わご（和語） wago

もともと にほんに あった ことば。（例 上下・・・うえした）

(Palabra de origen japonesa: Palabra que existía originalmente en Japón. Por ejemplo: 上下 ueshita = arriba y abajo.)

けいご（敬語） keigo

ききてや わだいに なっている ひとに けいいをあらわす ひょうげん。ていねいご そんな けいご けんじょうごに わかれる。

(Lenguaje Formal: Expresiones que demuestran respeto al interlocutor o al tema tratado. Se divide en *teineigo* <lenguaje formal>, *sonkeigo* <lenguaje de respeto> y *kenjôgo* <lenguaje humilde>.)

しんじょう（心情） shinjô

とうじょうじんぶつが かんじたり おもったり かんがえたり したこと。

(Sentimientos: representan las cosas que los personajes sienten, piensan, etc.)

とうろん（討論） tōron

ある もんだいについて いけんを だしあい ぎろんを たたかわせること。

(Debate: Confrontar opiniones y discusiones acerca de un problema.)

たんか（短歌） tanka

五・七・五・七・七の 三十一おんから なる にほんとかゆうの みじかいし。

(Tanka: Poesía corta tradicional japonesa, compuesta por 31 sonidos, divididos en versos de 5,7,5,7 y 7 sonidos.)

はいく（俳句） haiku

五・七・五の 十七おんからなり きせつを あらわす 「きご」を 入れた にほんとかゆうの みじかいし。

(Haiku: Poesía corta tradicional japonesa con “kigo” <palabras que se refieren a alguna estación del año> compuesta por 17 sonidos divididos en versos de 5,7 y 5 sonidos.)

げんご たんい
13 言語の単位

(Elementos lingüísticos)

句点	くてん	kuten	punto final
形式段落	けいしきだんらく	keishiki danraku	párrafo
疑問符	ぎもんふ	gimonfu	signo de interrogación
感嘆符	かんとんふ	kantanfu	signo de exclamación
文節	ぶんせつ	bunsetsu	frase
↳ (文の中の一區切り) (división dentro de una oración)			
単語	たんご	tango	palabra

ぶん せいぶん
14 文の成分

(Elementos da oração)

主語	しゅご	shugo	sujeto
述語	じゅつご	jutsugo	predicado
修飾語	しゅうしょくご	shûshokugo	modificador
体言	たいげん	taigen	sustantivos y pronombres
↳ (主語になれるものの名前) (palabras que pueden ser el sujeto de la oración.)			
用言	ようげん	yôgen	verbos y estados
↳ (動作や様子を表すことば) (palabras que expresan acciones y estados.)			
接続語	せつぞくご	setsuzokugo	conjunciones
↳ (語句や文をつなぐことば) (palabras que unen otras palabras o frases)			
独立語	どくりつご	dokuritsugo	palabras independientes
↳ (一つだけで働くことば) (palabras que tienen función independiente de otras)			

たんご
15 単語のいろいろ

(Relacionados a las palabras)

活用	かつよう	katsuyô	conjugación
自立語	じりつご	jiritsugo	palabras independientes
↳ (一つで文節をつくることば) (palabras que pueden formar una oración solas.)			
付属語	ふぞくご	fuzokugo	auxiliar
↳ (自立語の後につくことば) (palabras acompañadas de palabras independientes)			
名詞	めいし	meishi	sustantivo
副詞	ふくし	fukushi	adverbio
接続詞	せつぞくし	setsuzokushi	conjunción
感動詞	かんどうし	kandôshi	inerjección
動詞	どうし	dôshi	verbo
形容詞	けいようし	keiyôshi	adjetivo

形容動詞	けいようどうし	keiyôdôshi	adjetivo-verbo
助詞	じょし	joshi	partícula
助動詞	じょどうし	jodôshi	verbo auxiliar
品詞	ひんし	hinshi	elementos da frase
季語	きご	kigo	palabras relacionadas a las estaciones del año

└ (俳句などで季節をあらわすことば)

(palabras utilizadas en el haiku que expresan las estaciones del año)

対義語	たいぎご	taigigo	antónimo
類義語	るいぎご	ruigigo	sinónimo
多義語	たぎご	tagigo	palabra con muchos significados
語幹	ごかん	gokan	raíz de la palabra
自動詞	じどうし	jidôshi	verbo intransitivo
他動詞	たどうし	tadôshi	verbo transitivo
接頭語	せつとうご	settôgo	prefijo
接尾語	せつびご	setsubigo	sufijo

16 ^{かつよう} ^{じりっご} 活用のない自立語

(Palabras independientes sin declinación)

普通名詞	ふつうめいし	futsû meishi	sustantivo común
固有名詞	こゆうめいし	koyû meishi	sustantivo propio
代名詞	だいめいし	daimeishi	pronombre
数詞	すうし	sûshi	numeral
形式名詞	けいしきめいし	keishiki meishi	pseudo-sustantivo
順接	じゅんせつ	junsetsu	conjunción consecutiva
逆接	ぎゃくせつ	gyakusetsu	conjunción adversativa
転換	てんかん	tenkan	cambio
要約	ようやく	yôyaku	resumo
補足	ほそく	hosoku	complemento
感動	かんだう	kandô	emoción
応答	おうとう	ôtô	respuestas
呼びかけ	よびかけ	yobikake	llamada

17 ^{がくしゅうようご} 学習用語

(Palabras utilizadas en el estudio)

朗読	ろうどく	rôdoku	lectura en voz alta
論理	ろんり	ronri	lógica
感想	かんそう	kansô	impresiones

筆者	ひっしや	hissha	} autor
作者	さくしや	sakusha	
著者	ちよしや	chosha	
古文	こぶん	kobun	literatura clásica
	↳ (江戸時代までの日本語の文) (literatura japonesa antes de la era Edo)		
漢文	かんぶん	kanbun	literatura clásica escrita sólo con caracteres chinos.
	↳ (中国から伝わった漢字だけの文) (literatura escrita con kanjis que llegaron de China)		
起承転結	きしょうてんけつ	kishōtenketsu	estructura del texto (introducción, desarrollo, conclusión)
	↳ (文章や物語のはじめ・経過・展開・終わり) (partes de texto: introducción, desarrollo, conclusión)		
歴史的仮名遣い	れきしてきかなづかい	rekishiteki kanazukai	uso de letras kana en textos antiguos
	↳ (古文による仮名の使い方) (modo de uso de letras de kana en literatura clásica)		
音便	おんびん	onbin	eufonia
比喩	ひゆ	hiyu	metáfora
慣用句	かんようく	kan'yōku	expresión idiomática
推敲	すいこう	suikō	retocar
紀行文	きこうぶん	kikōbun	diario de viaje
論説文	ろんせつぶん	ronsetsubun	editorial
解説文	かいせつぶん	kaisetsubun	explicación
風刺	ふうし	fūshi	sátira
描写	びょうしゃ	byōsha	descripción
引用	いんよう	in'yō	cita
ディスカッション		disukasshon	discusión
ディベート		dibêto	debate
イントネーション		intonêshon	entonación
コミュニケーション		komyunikêshon	comunicación

【平成14年度発行】

1 作成協力委員(所属及び職名は平成14年度による)

委員長	山下 武彦	(本庄市立中央小学校 校長)
副委員長	長谷川 浩	(さいたま市立常盤中学校 教頭)
委員	石橋 裕	(戸田市立戸田中学校 教諭)
委員	加藤 明美	(川口市立戸塚中学校 教諭)
委員	中島 敏也	(飯能市立飯能第一小学校 教諭)
委員	松崎 仁子	(東松山市立松山第一小学校 教諭)
委員	中井 健一	(小鹿野町立小鹿野小学校 教諭)
委員	下山美代子	(本庄市立本庄西小学校 教諭)
委員	清水 孝彦	(深谷市立上柴西小学校 教諭)
委員	小宮 豊隆	(行田市立長野中学校 教諭)
委員	新井てる子	(岩槻市立東岩槻小学校 教諭)
委員	石田 耕一	(埼玉大学教育学部附属中学校 教諭)
委員	阿久津一浩	(さいたま市教育委員会 主任指導主事)
委員	豊田 尚正	(北部教育事務所 主任指導主事)
委員	本木 正和	(県立蕨高等学校 教諭)
委員	須田 康子	(県立戸田高等学校 教諭)
委員	松尾 恭子	(社団法人国際日本語普及協会 日本語教師)
委員	小玉 安恵	(国際交流基金日本語国際センター 専任講師)

2 翻訳協力者等(職名は平成14年度による)

<中国語>	白 香・瀬尾 圓・高木延峰・李 莉
<ポルトガル語>	セルジオ 馬場 (指導課国際交流員)
<スペイン語>	リリアナ 中村 (指導課国際交流員)
<英語>	ジュリー ナン (指導課国際交流員)

笠間 進 (指導課支援アドバイザー)

3 資料提供等(教科書の図版) ※敬称略

(1)<日常生活・国語>

- 国際交流基金日本語国際センター「日本語かな入門」
- さいたま市教育委員会 指導教材「はじめくとまりちゃんのにほんごきょうしつ」

(2)<社会>

- 沖縄県平良市教育委員会 副読本「ひらら」
- 岩槻市教育委員会 社会科副読本「いわつき」小3・4年
- 東京書籍(株) 教科書「新しい社会」小3・4年、他21件
- (株)中央社 副読本「わたしたちの郷土 さいたま」埼玉県全県地図
- (株)文溪堂 社会資料集 6年「調べ 考え 好きになる」
- 青葉出版(株)東京支社 社会科作業帳 6年「日本の歴史と政治・世界」他1件
- 明治図書(株) 「最近歴史資料集」他1件
- 須貝 稔 東京書籍「新しい社会歴史」
- 江口準次 東京書籍「新しい社会6上」他1件

(3)<算数・数学>

- 岡部タカノブ 東京書籍(株)「新しい算数」小3上、他1件
- 佐藤道子 東京書籍(株)「新しい算数」小4下
- (株)新興出版社啓林館 教科書「さんすう」小1、他4件
- 東京書籍(株) 教科書「新しい算数」小3上、他5件

(4)<理科>

- 小山信吾 大日本図書(株)「中学校理科」中2上
- 東京書籍(株) 教科書「新しい理科」小3、46件
- 教育出版(株) 教科書「中学理科」中1上、他3件
- 大日本図書(株) 教科書「中学校理科」中2上

【平成18年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成18年度による)

<中国語>	李 寧 蕓
<ポルトガル語>	アレックスandro タタジバ (義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	ロベルト 津留 (高校教育指導課国際交流員)
<英語>	シェーン パトゥ (高校教育指導課国際交流員)

小岩井優里子 (義務教育指導課支援アドバイザー)

【平成31年度発行】

改訂版翻訳協力者等(所属及び職名は平成30年度による)

<中国語>	徳間 菲	(国際課)
<ポルトガル語>	メロ ワヂソン	(義務教育指導課国際交流員)
<スペイン語>	スミヒロ マリエン	(高校教育指導課国際交流員)
<英語>	クリス クレイゴ	(高校教育指導課国際交流員)

- ・義務教育指導課 教科担当指導主事
- ・北村裕美 (義務教育指導課支援アドバイザー)



平成31年4月発行